

# 1988-1991

[ 昭和63年～平成3年 ]

昭和

- 63年 ・大久保南部土地区画整理事業が完成
- ・魚住センターロード開通
- ・明石公園内に弓道場が完成、公式競技場としては県下初
- ・駐車場附置義務条例施行  
※一定規模以上の建築物を建てる場合、その建物または敷地内に駐車場の設置を義務づけるもの
- ・山川土地区画整理事業完成
- ・公文書公開制度開始
- ・国民文化祭開催

平成

- 元年 ・環境保全条例を見直し、開発、建築行為の規制を強化
- ・市立図書館、コンピューターによる貸出業務開始
- ・ゴミの分別収集を全市へ拡大、収集をカゴ方式から袋方式に変更
- ・市制70周年を記念して明石公園にとき打ち太鼓設置
- ・市民病院が新病棟の使用開始



市民病院が6階建てになり、408の病床や高度医療機器を備える

- 2年 ・明石で生産されたノリをブランド化、明石観光協会などで販売
- ・上ヶ池公園に花と緑の学習園開館
- ・明石駅前に立体駐車場と自転車駐車が同時開館
- ・明石駅周辺を自転車放置禁止区域に指定
- ・市の人口27万722人(第15回国勢調査)



ノリの収穫風景

- 3年 ・山陽電鉄の高架工事完了(明石川～大蔵谷駅西の間1.9km)
- ・総合福祉センター開館
- ・明石原人まつり開催
- ・大蔵海岸整備事業計画がまとまる
- ・文化博物館開館



入場者1万5千人  
好評を博した文化博物館の開館特別展

1988 (昭和63年)

1989 (平成元年)

1990 (平成2年)

1991 (平成3年)

## ラ ホテル 反対の請願採択

### 業者と話し合いへ

建設企業常任委員会では、大蔵海岸地区に建築されようとしているラブホテルに反対する趣旨の請願を、全員一致で採択しました。

この地区には、ラブホテルと認められる宿泊施設がすでに二軒あり、さ

らに一軒が建築されようとしています。この現状について各委員から、青少年に及ぼす影響や、大蔵海岸整備の位置付けとの整合性を当局に強くいたしました。また、営業中の二軒について、ビジネスホテルとして建築確認を出しているにもかかわらず、営業実態はラブホテルと変わらないことから、建設後の形態を点検する姿勢など、この問題に対する考え方を追及しました。現状の説明によると、法的な限界もあり、営業形態の改善や新たな建築の中止を強固に要求するのは難しいようです。しかし、問題收拾へ関係者と話し合いの場を持つなど、全力を尽くす意向が示されました。委員会では、市全体の街づくりの観点から、建築指導要綱の趣旨に沿った問題解決へ、最大限の努力を要望しました。

大蔵海岸地区でのラブホテル建設反対の請願採択

(明石市史現代編I)

「ふるさと創生・億円事業」と明石竹下内閣下で、「ふるさと創生・億円事業」が行われた。これは、地方公共団体の規模に関わらず、また、使途も定めることなく、一律億円を分配するものである。明石市では、ボランティア福祉活動基金の創設に五千万円、時打ち太鼓、太鼓槽の建設助成に二千万円、そして、ふるさと観光案内板に四千万円をそれぞれ配分した。ボランティア福祉活動基金は、ボランティアによる福祉活動を推進するため、基金の利息

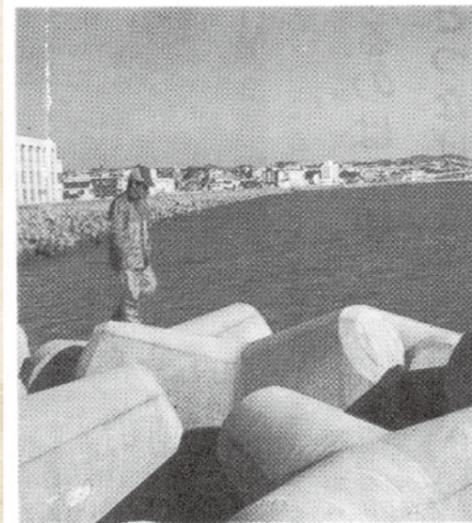
を活動経費の一部として役立てることが計画された。時打ち太鼓と太鼓槽は、時のふるさと明石の新しいモニュメントとして期待された。それは明石公園内、江戸時代に太鼓門があった場所に建設され、時打ちロボットが設置された。一九八九(平成元年)十一月二日に、時打ち太鼓の初打ちが行われた。ふるさと観光案内板は、「ふるさと道」の案内板や説明板、標識などを整備することによって、明石の町をアピールしようというものであった。

明石公園内に国の交付金を活用して時打ち太鼓を設置

## 大蔵海岸整備構想

### 埋立と養浜で開発 具体化に難問山積

大蔵海岸整備構想の素案が、都市整備特別委員会に報告されました。構想では、市役所東側から朝霧駅東の神戸市境まで約二キロの海岸域の整備を考えています。同地域は、完成後の明石海峡大橋を一望できる優れた位置にあります。このため、今後整備を進め、市民のレクリエーション活動の場を確保するとともに、大橋の眺望を生かした観光拠点づくりで都市の活性化を図ろうとするものです。



△ 海とふれあい憩う場に (大蔵海岸)

(市議会だより 第88号)

(市議会だより 第86号)

# 1992-1995

[平成4年～平成7年]

平成

- 4年
  - 明石出身の小鴨由美選手、大阪国際女子マラソンを日本新で優勝
  - 都市景観条例を制定
  - 地価公示  
バブル崩壊の影響で、本町が県下で最高  
の下落
  - 鳥羽に緑の散策路「西明石緑道」が完成
  - 明石市農協と大久保町農協が合併し「あかし農業協同組合(JAあかし)」が発足
  - アニメ市史「明石と時のこどもたち」を制作
  - 本会議場傍聴席での手話通訳を開始

- 5年
  - 市が郵政省の「テレトピア構想」地域指定を受ける
  - 消防本部に初の救急救命士が誕生
  - 「時のウィーク」初めて開かれる
  - 大蔵海岸埋立工事に着手
  - 違法駐車防止条例を制定(県下初)



本会議場傍聴席での手話通訳を開始(市議会だより 第108号)

- 6年
  - 魚住町清水の民俗行事「オクワハン」を市文化財に指定
  - 藤江別所遺跡で古墳時代の車輪石が出土
  - (株)明石ケーブルテレビ開局
  - 大久保駅南の都市拠点総合整備事業に着手



(市議会だより 第116号)

- 7年
  - 兵庫県南部地震による被害発生
  - 魚住浄水場に県下一高い配水塔が完成(57.5m)
  - 明石税務署新庁舎が田町1丁目に完成
  - 明石駅前広場完成
  - 市の人口28万7,606人(第16回国勢調査)



高さ57.5mの魚住配水塔

## 1992(平成4年)

## 1993(平成5年)

## 1994(平成6年)

## 1995(平成7年)

**美しい街並みへ 都市景観条例を制定**

都市景観の保全や、育成、創造することにより、美しいまちづくりを進めるため、都市景観条例が制定されます。海岸や河川などの自然と調和した地区や歴史的な雰囲気を残し特色のある地区は、住民等の意見を聴いて都市景観形成地区に指定できます。指定後、その地区内で新築や増築を行う場合には、意匠や規模などについて都市景観形成基準に適合するよう助言や指導が行われます。

また、歴史的・建築的に重要な価値のある建築物などは、所有者等の同意を得て都市景観形成重要建築物に指定することができます。その建築物は、保全計画に基づき適

正に管理されます。一方、都市景観に大きな影響を与える大規模建築物等の建設には事前の届け出が必要で、誘導基準に合うよう助言や指導が行われます。

これらの施策を推進する

るための指針となる都市景観形成基本計画を、今年度中に策定します。

宿場町の面影が残る大蔵地区(市議会だより 第104号)

**大蔵海岸埋め立て議案を可決 公聴会は開催せず**

大蔵海岸埋め立て事業は、大蔵海岸の埋め立てを目的とする。大蔵海岸の埋め立ては、大蔵海岸の埋め立てを目的とする。大蔵海岸の埋め立ては、大蔵海岸の埋め立てを目的とする。

舞子タワーから望む大蔵海岸(市議会だより 第108号)

**動き出す違法駐車対策 県下初の条例制定 市民への十分なPR望む**

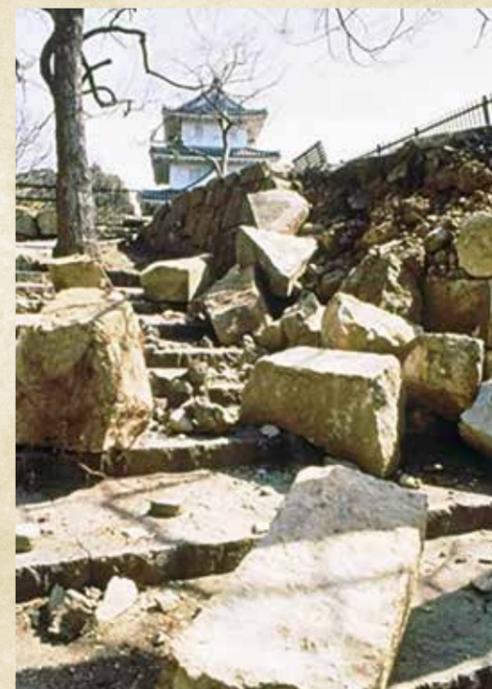
違法駐車対策 県下初の条例を制定

違法駐車対策 県下初の条例を制定

**談合疑惑解消へ 本市初の一般競争入札 下水管布設工事で試行**

談合疑惑が問題となり、入札制度の改善が強く求められていた。第一弾として、一層公正な入札を行うため、今回初めて大規模工事二件について、条件付一般競争入札が試行されました。その結果、これまで指名実績のない業者の参加もあり、競争の門戸は広がったものの、入札に広がるまでの事務量が約十倍になるなどの問題点も明らかになりました。

着々と進む下水管の布設(市議会だより 第117号)



兵庫県南部地震発生 平成7年1月17日午前5時46分、淡路島を震源とする地震が発生しました。最大震度6の大きな揺れがあった明石市では、死者26人、けが人1,884人、家屋の全半壊が1万棟近くあったほか、明石城の石垣が崩れるなど、大きな被害がありました。

# 1996-1999

[平成8年～平成11年]

平成

- 8年 ・二見町で市営の災害復興住宅建設に着手
- ・大久保浄化センター稼動
- ・中尾親水公園が完成
- ・JR大久保駅の橋上化が完成



最新設備で4月1日稼働した大久保浄化センター

- 9年 ・大蔵海岸の埋立造成が完了
- ・上下水道料金を7年ぶりに引き上げ
- ・231日ぶりに天文科学館に塔時計(3代目)が戻る
- ・藤江川添遺跡で約5～10数万年前に使われていたと思われるメノウ製の握斧(あくふ)型石器が出土



2代目塔時計は震災復旧工事のため撤去し、神戸学院大学(神戸市西区)へ移設

- 10年 ・天文科学館リニューアルオープン
- ・大蔵海岸が竣工  
「ときめき明石・海峡まつり'98」開催
- ・明石海峡大橋開通
- ・大久保駅北駅前広場の供用開始
- ・産業交流センター開館



明石海峡まつり開催

世界最長のつり橋、明石海峡大橋の開通を記念して開催。タコの形をした熱気球が空高く舞い上がりました。

- 11年 ・明石クリーンセンター稼動
- ・環境の保全及び創造に関する基本条例を制定
- ・西部市民会館・図書館開館

三月二十五日の本会  
議において、「明石市  
公文書の公開等に関する  
条例」を改正し、市  
議会公文書の公開に  
向けて「市議会公文書  
公開検討委員会」を設  
置し、以後検討を重ね  
てきたこと。  
市議会では昨年九月  
から七月から公開  
開の実施に  
ついては七  
月一日から、対象と  
なるのは、同日以降に  
なるとは供覧の終了  
した文書です。

市議会の公文書も公開の対象に(市議会だより 第139号)

## 1996 (平成8年)

## 1997 (平成9年)

## 1998 (平成10年)

## 1999 (平成11年)

新しい大久保駅完成  
次は北側の駅前広場を

大久保地区都市拠点総合整備事業の一環として、JR大久保駅の橋上化が進められてきましたが、工事も順調に進み、いよいよ八月八日、橋上化が完成し、記念式典が行われます。

なお、JR西日本では、橋上化にあわせ、上り下り二つのホームの両側に線路を配置する二面四線の工事を現在進めており、来春完成の予定です。

また、駅橋上化工事と同時に着手した駅南の区画整理事業も順調で、八月竣工となります。



橋上化で生まれ変わる駅舎(市議会だより 第126号)

### 大蔵海岸コンペ始まる

優れた提案を期待 急がれる連絡道の整備



大蔵海岸の埋立造成地十九箇のうち、民用地を売却するためのコンペ(提案競技公募)要綱案が、九月二十四日の大蔵海岸整備特別委員会から説明されました。

現地を視察する特別委員会委員(市議会だより 第127号)

### 市立産業交流センター 産業振興と地域活性化へ 11月12日いよいよオープン



JR大久保駅前に完成

地球にやさしいまちづくりへ  
環境保全・創造に関する条例を制定  
夜10時以降の花火は禁止

昭和四十八年制定の環境保全条例を大幅に見直し「明石市の環境保全及び創造に関する基本条例」が制定されました。



(市議会だより 第141号)

市議会募金活動  
トルコ・台湾大地震支援

市議会では、トルコ・台湾大地震に対する支援活動として、先月三十日にJR明石・西明石・大久保・魚住・土山及び山電東二見の各駅前で、街頭募金活動を行いました。

そして、市民の皆様から約四十四万五千円もの多額の募金をいただきました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

なお、皆様からお預かりした募金は、全市議会議員からの募金三十三万円とともに、兵庫県を通じて各被災地の救援に活用させていただきます。

(市議会だより 第142号)

# 2000-2003 [平成12年～平成15年]

平成

- 12年**
- ・高齢者大学あかねが丘学園を旧松が丘南小学校(松が丘5丁目)へ移転
  - ・震災からの復旧工事を終え、明石城の隅櫓(巽・坤)5年ぶりに復活
  - ・夜間花火を規制する条例を制定
  - ・魚の棚に観光市民トイレ完成
  - ・第4次長期総合計画、基本構想を策定
  - ・市の人口29万3,117人(第17回国勢調査)



あかねが丘学園(旧松が丘南小跡)



魚の棚に観光市民トイレ完成



平成12年7月、藤江海岸

- 13年**
- ・海浜利用に関する条例を制定
  - ・市民夏まつり花火大会で大事故が発生
  - ・アスパア明石が開業
  - ・大蔵海岸陥没事故が発生し、女児が生き埋めとなり、翌年5月26日に亡くなる

- 14年**
- ・特例市へ移行
  - ・市バスに料金カード導入(愛称は「のり鯛カード」)
  - ・歩道橋事故のあった7月21日を「市民安全の日」に指定
  - ・世界的指揮者・佐渡裕氏が市内で音楽指導

- 15年**
- ・給食調理業務の民間委託、学童保育の公立化開始
  - ・防災センターが藤江に開設
  - ・議員の定数を33名から31名へと削減することを決定
  - ・本会議の会議録をホームページで公開開始
  - ・夜間休日急病センターが開業



事故現場に慰霊碑「想(おもい)」の像が設置された



夜間休日急病センター

2000(平成12年)

2001(平成13年)

2002(平成14年)

2003(平成15年)

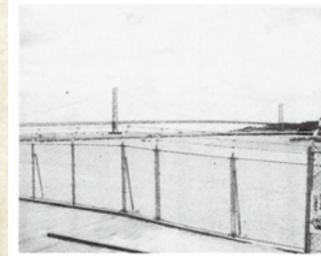


平成13年7月21日、市民夏まつり花火大会の際に、JR朝霧駅南側の歩道橋において、駅方面からの見物客と会場方面から帰る見物客が合流する地点が混雑し、群衆雪崩が発生。死者11名と重軽傷者247名を出す、大惨事となりました。



平成13年12月30日に発生した大蔵海岸陥没事故の現場を視察する建設常任委員会

大蔵海岸陥没事故  
防砂板の損傷が原因  
事故調査報告まとまる



望まれる早期の復旧  
安全対策の徹底を



防災学習の拠点となる防災センター



(市議会だより 第161号)



給食調理業務の民間委託  
給食は子どもたちの楽しみ

# 2004-2007 [平成16年～平成19年]

平成

- 16年**
- 山陽電車西二見駅開業
  - コミュニティバス「Tacoバス」実験運行開始
  - 粗大ごみ戸別収集の有料化開始
  - 台風23号で本市初の避難勧告が出る
  - アスパシア明石に子育て支援センター開設



ラブホテル規制の市の条例案は1票差で可決

- 17年**
- 3月定例会市議会で代表質問制を導入
  - 明石ケーブルテレビで初の議会放映
  - ラブホテル規制条例、委員会で可決された議員案が本会議では否決される
  - 大蔵海岸こども広場開設
  - 夏まつり事故の碑「いれぶんはーと」と海岸の安全を誓う碑「愛しい娘(こ)」を大蔵海岸に設置
  - 八木松陰線が供用開始、国道2号と明姫幹線を結ぶ
  - 市の人口29万1,027人(第18回国勢調査)

- 18年**
- 仮契約業者の談合が判明し、市が二見浄化センター工事の契約議案を撤回
  - 第61回国民体育大会が開催され、明石市も会場となる
  - 市民オーケストラ「明石フィルハーモニー管弦楽団」(愛称:たこフィル)誕生
  - 議会の議員報酬及び政務調査費を減額する条例改正案を可決



工事着工が遅れた二見浄化センター

- 19年**
- 市長等の退職手当をめぐる、議員案と市の案が対立
  - 新幹線西明石駅前広場完成
  - 明石北わんぱく広場開設
  - 市役所2階ロビーモニターで本会議の中継を開始
  - 市役所内に障害者作業所、福祉コンビニを開設



公共交通の利便性向上を図る(新幹線西明石駅前広場)

## 2004(平成16年)

## 2005(平成17年)

## 2006(平成18年)

## 2007(平成19年)

**粗大ごみと紙類・布類**  
11月から新たな収集方法へ  
市民へのPRに努力

生活環境常任委員会で、この十一月から実施される粗大ごみの戸別有料収集と、紙類・布類の分別収集に向けた取り組みが報告されました。

まず、粗大ごみの戸別収集については、明石クリーンセンター内に受付センターを設置し、祝日

を含む月曜日から金曜日の午前九時から午後七時までで電話による受け付けを行います。また、粗大ごみに張りつける処理券は、市内のコンビニやスーパー、郵便局、各市民センターなど約百三十カ所で取り扱う予定です。

次に、紙類・布類の分別収集ですが、現在、子ども会等で取り組んでいる集団回収とは別に、市内を四地域に分割し、それぞれ毎月一度、土曜日に、ごみステーションまで市の委託業者が収集に回ります。



各地域で説明会を開催

粗大ごみの戸別収集の有料化が開始(市議会だより 第167号)



広い歩道でバリアフリーも図る(八木松陰線)

審議の中で、市からは今後とも引き続き地元説明会の開催や広報紙によるPR、パンフレット等の全戸配布など、市民の理解が得られるよう啓発に努めていくとの説明がありました。委員からは不法投棄への迅速な対応等を求める要望が出されました。

**さらなる行財政改革  
議員報酬を自ら減額**  
議員定数削減案は否決

議会の議員報酬および政務調査費を減額する条例改正案が、本会議最終日に提案され、全員賛成で可決されました。

議会では、本市の財政状況がますます厳しくなることから、さらなる行財政改革への取り組みが必要と考え、各会派の代表者による代表者会で議員報酬や会派に交付される政務調査費、議員定数などについて県下各市や全国の類似都市の状況も

参考とし、八回にわたり協議してきました。

この結果、定数は人口二十五万から三十万の類似都市で最少であることから現行のままとし、報酬および政務調査費を平成十九年度から二年間減額することを全会一致で合意し、このたび条例改正を提案しました。

また、代表者会の削減案では不十分として、四名の議員から議員定数を二名削減する条例改正案

議員報酬等(月額)		改正前	改正後
議 長		798,000円	718,000円
副 議 長		727,000円	668,000円
議 員		656,000円	623,000円
政務調査費		90,000円	80,000円

が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

採決前の討論では、類似都市の中でも高い順位にある議員報酬と政務調査費を削減し、低い順位とする代表者会の結論は妥当であるとの反対意見が出されました。

議員報酬および政務調査費を減額(市議会だより 第178号)

**市長等の退職手当  
議員案と市の案が対立  
当面は支給を凍結**

市長や副市長、教育長など特別職の給与を20%削減する案も、退職手当の増額を当該の閉会中に提案された議員案が可決されました。

この改正案は、先の十一月定例会で議決された特別職の給与を10%削減する案を10%削減する案に置き換えることになりました。

その後、一部の議員からは、市提出の改正案に賛成し、現市長には退職手当が支給されることになりました。

同、新たに提出されたもの。改正案では、特別職の退職手当について、恒久的な制度のあり方を十分に検討するため、その間退職手当の支給を凍結するもので、検討結果によっては凍結解除後、現市長にも支給されることになりました。

本会議で賛同に立った三人の議員からは、十一月定例会における退職手当の凍結措置は、市長の発言と、今回提出された改正案は整合性に欠けるなどの意見がありました。

また、同じく特別職の給与削減案も撤回され、新たな全議員の給与を5%削減することに加え、管理職手当を20%削減する案も提出され、可決されました。

(市議会だより 第179号)

# 2008-2011

[平成20年～平成23年]

平成

- 20年
  - ・サハ共和国 ヤクーツク歌劇場及びサハ高等音楽院と連携協力覚書締結
  - ・明石市議会のあるべき姿、明石市議会議員のあるべき姿がまとまる
  - ・市立明石商業高等学校スポーツ科関連予算を削除、ノリ養殖漁業者への緊急支援対策を承認
  - ・明石市議会ホームページをリニューアル、本会議のインターネット録画中継開始、市議会だよりのカラー印刷を開始
  - ・明石市、バレホ市姉妹都市提携40周年
  - ・市営バス事業、2路線(藤江・貴崎線、岬町線)を民間へ移譲

- 21年
  - ・ふれあいプラザあかし西開館
  - ・市制施行90周年記念式典を開催
  - ・あかし斎場旅立ちの丘が完成
  - ・明石市立市民病院が「明石市安心の医療確保政策協議会」から、地方独立行政法人へ移行の答申を受ける



市バス利用者減に歯止めがかからず

- 22年
  - ・明石市自治基本条例を制定
  - ・天文科学館がリニューアルオープン(開館50周年)
  - ・明石市議会議員政治倫理条例検討会を設置
  - ・北口市長に対する問責決議を可決
  - ・市の人口29万959人(第19回国勢調査)



3F展示



4F屋外広場

天文科学館リニューアル

- 23年
  - ・第5次長期総合計画基本構想を可決
  - ・明石市議会議員政治倫理条例を制定
  - ・松江公園開園
  - ・特別職の給料を減額する条例、議員提案の修正案を可決
  - ・明石市議会活性化計画を策定、活性化推進会議を設置
  - ・明石市立市民病院が地方独立行政法人に移行
  - ・失業中の市民税の減免見直し案、議員提案の修正案を可決

## 2008(平成20年)



連携協力の覚書を締結(ヤクーツク歌劇場)

## 2009(平成21年)

内容	年度
① 代表質問の実施	16
② 常任委員会の理事者入れ替え制の実施	18
③ 本会議質問の一回一答制の試行	20
④ 市議会・市議会議員のあるべき姿の策定	19
⑤ 決算審査特別委員会の運営の見直し	20
・9月市議会の会期中に審査	
・決算審査分科会を設置	
⑥ 議員研修会の毎年の開催	21
⑦ 各種審議会等への参画の見直し	21
⑧ 本会議議録検索システムの運用	15
⑨ ホームページの充実	15
⑩ 代表質問のケーブルテレビ中継の実施	16
⑪ 本会議のインターネット中継の実施	20
⑫ 市議会だよりの増ページ	17・21
⑬ 市議会だよりのカラー刷り	20
⑭ ホームページのリニューアル	19
⑮ 委員会記録検索システムの運用	19
⑯ 本会議傍聴者への議案書の閲覧	20
⑰ 議会図書室の活用	20
⑱ 使途基準の見直し	15～20
⑲ 議事録添付の義務化	19
⑳ 収支報告書をホームページに掲載	20
議政費削減	
① 議員定数の削減(33名→31名)	15
② 議会交際費の削減	15・16・19
③ 政務調査費の削減	15・19～23
④ 旅費など議会費の削減	15・17・20
⑤ 議員報酬の削減	19・20
⑥ 連記の廃止	21
⑦ 女性用トイレの増設、手すりの設置	18
⑧ エレベーターの改修	18
⑨ 議会棟のバリアフリー化	21
・傍聴席への階段再測の手すりの設置	
・車椅子用傍聴スペース及び段差解消機	

明石市議会活性化の取り組み(平成15年度～21年度)(市議会だより 第192号)

## 2010(平成22年)

平成20年7月19日 検討委員会中間まとめの報告
自治基本条例の中間まとめについて、自派議員や公明党市議員等が構成される自治基本条例検討委員会から市議会に報告がありました。
平成21年9月4日 検討委員会最終報告書の概要説明
平成22年8月18日に自治基本条例検討委員会から市長に出された報告書の内容について、概要説明が市議員を対象に行われました。
9月18日 検討委員会最終報告書の報告
総務常任委員会では、自治基本条例検討委員会からの報告および今後の取り組みについて、市長の報告を受けました。
10月23日 検討委員会最終報告書の協議
自治基本条例検討委員会からの報告や他都市の状況等について、総務常任委員会が協議を行いました。
11月24日 審判審議会の協議
自治基本条例検討委員会からの報告を受け、市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。
12月19日 審判審議会の協議
市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。
平成22年11月22日 審判審議会の協議
総務常任委員会、議員連盟等において、市議会の活性化や市民からの意見等が議論されました。これらの意見を踏まえて、市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。市議会だより第194号で協議内容を掲載しました。
3月24日 審判審議会の協議
本会議では、自治基本条例の議案に対する反対討論が行われました。採決の結果、賛成多数により可決されました。

自治基本条例をめぐる市議会の動き(市議会だより 第194号)



総務常任委員会で慎重な審査を重ねた(自治基本条例)

## 2011(平成23年)

1 議会運営の充実・改善
日本会議の運営について
① 議日の見直し
② 日曜議会、夜間議会
③ 過半数会派
④ 議案審査の充実
⑤ 議員連盟の強化
⑥ 議員連盟の強化
⑦ 議員連盟の強化
⑧ 議員連盟の強化
⑨ 議員連盟の強化
⑩ 議員連盟の強化
⑪ 議員連盟の強化
⑫ 議員連盟の強化
⑬ 議員連盟の強化
⑭ 議員連盟の強化
⑮ 議員連盟の強化
⑯ 議員連盟の強化
⑰ 議員連盟の強化
⑱ 議員連盟の強化
⑲ 議員連盟の強化
⑳ 議員連盟の強化
㉑ 議員連盟の強化
㉒ 議員連盟の強化
㉓ 議員連盟の強化
㉔ 議員連盟の強化
㉕ 議員連盟の強化
㉖ 議員連盟の強化
㉗ 議員連盟の強化
㉘ 議員連盟の強化
㉙ 議員連盟の強化
㉚ 議員連盟の強化
㉛ 議員連盟の強化
㉜ 議員連盟の強化
㉝ 議員連盟の強化
㉞ 議員連盟の強化
㉟ 議員連盟の強化
㊱ 議員連盟の強化
㊲ 議員連盟の強化
㊳ 議員連盟の強化
㊴ 議員連盟の強化
㊵ 議員連盟の強化
㊶ 議員連盟の強化
㊷ 議員連盟の強化
㊸ 議員連盟の強化
㊹ 議員連盟の強化
㊺ 議員連盟の強化
㊻ 議員連盟の強化
㊼ 議員連盟の強化
㊽ 議員連盟の強化
㊾ 議員連盟の強化
㊿ 議員連盟の強化
㊿ 議員連盟の強化

明石市議会活性化計画(平成23年～27年)(市議会だより 第202号)

# 2012-2015

[平成24年～平成27年]

平成

- 24年**
- ・議会報告会を初めて開催
  - ・より開かれた議会を目指し行った市民アンケートなどの結果を広報するため、あかし市議会だより臨時号を発行
  - ・市営バス61年の歴史に幕
  - ・市長から再議を求められるも減額修正予算を再可決(再議は明石市議会初)
  - ・明石市議会活性化特別委員会を設置
  - ・議場コンサートを開催(明石フィルハーモニー管弦楽団)
  - ・明石市議会議員定数条例を改正(定数を30人に)
  - ・天文科学館プラネタリウムの稼働時間が日本一になる
  - ・本会議を明石ケーブルテレビで生中継

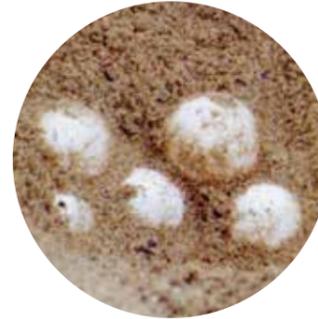


あかし市議会だより臨時号

- 25年**
- ・収支不足解消に向け、財政健全化推進協議会を設置
  - ・子どもの医療費無料を中学生まで拡大
  - ・捨てたらあかん! ミドリガメキャンペーンを実施
  - ・明石市議会基本条例を制定
  - ・清酒による乾杯の普及促進条例を制定
  - ・市議会だより巻頭写真を公募(第215号に掲載)
  - ・市は、明石市土地開発公社が保有する土地を取得し、公社に対する債権を放棄、同公社を解散

- 26年**
- ・大蔵海岸多目的広場開設
  - ・ウミガメが6年ぶりに産卵、子ガメ旅立つ
  - ・「時の記念日を祝日に」することを求める請願を採択
  - ・あかしの生態系を守る条例を制定
  - ・公設地方卸売市場への指定管理者制度導入を決定

- 27年**
- ・手話言語を確立するとともに要約筆記・点字・音訳等障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例を制定
  - ・総合福祉センターに明石市後見支援センターを開設
  - ・市立小中学校普通教室に空調設備設置を進める
  - ・市の住民投票条例案を賛成なしで否決
  - ・市の人口29万3,409人(第20回国勢調査)



6年ぶりのウミガメ産卵



ミシシッピアカミミガメを指定外来種に指定



市立小中学校普通教室に空調設備を設置

## 2012 (平成24年)

## 2013 (平成25年)

## 2014 (平成26年)

## 2015 (平成27年)



市営バス61年の歴史に幕



市の伝統産業である清酒による乾杯



(市議会だより 第205号)



市議会だより巻頭写真を公募(市議会だより 第215号)



子午線を示す標石柱(天文科学館北側)



卸売市場に指定管理者制度を導入



(市議会だより 第225号)

# 2016-2019

[平成28年～令和元年]

平成

- 28年 ・市立明石商業高等学校が春の甲子園に初出場
- ・政務活動費収支報告書・領収書等の閲覧制度が開始
- ・タコで有名な全国8つのまちが明石に集合「たこリンピック in 明石」開催
- ・リオデジャネイロパラリンピックで活躍した明石市出身の上地結衣選手(銅メダル)、別所キミエ選手(5位入賞)が、あかしふるさと大使に任命
- ・ご当地グルメでまちおこしの祭典B-1グランプリスペシャルで明石市がゴールドグランプリ(1位)に輝く
- ・明石駅前再開発ビル(パピオスあかし)に「あかし市民広場」がオープン

- 29年 ・明石駅前再開発ビル(パピオスあかし)に「あかし市民図書館」「あかし子ども広場」「あかし総合窓口」がオープン
- ・本会議場に国旗・市旗を掲揚
- ・生涯学習センター、男女共同参画センター、市民活動支援センターの機能が1つになり複合型交流拠点「ウィズあかし」に
- ・「あかし里親フォーラム」開催
- ・大蔵海岸の市有地、条件付きで売却することを決定
- ・8月1日時点の推計人口が29万5,557人となり、17年ぶりに市の人口が過去最高を更新
- ・「2017西日本B-1グランプリ in 明石」を明石公園で開催、2日間で17万3,000人が来場

- 30年 ・高校生議会を初めて開催
- ・中核市へ移行。「あかし保健所」「あかし動物センター」開設
- ・すべての市立中学校で給食がスタート
- ・あかし子ども財団設立
- ・市立明石商業高等学校が夏の甲子園に初出場
- ・バレホ市との姉妹都市提携50周年を迎え、バレホ市を訪問

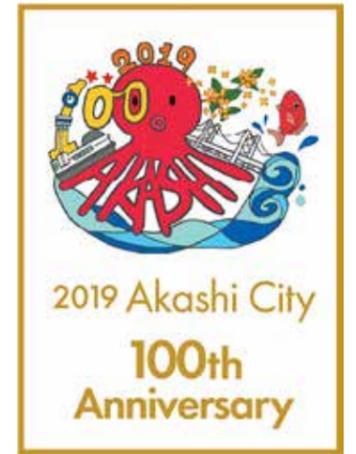
- 平成31年/令和元年
- ・2月臨時市議会にて、泉市長の法定期日前の退職に同意
- ・明石子どもセンター開設
- ・明石市議会基本条例に災害時の対応を追加



中核市移行記念式典



平成30年11月に開催した第2回高校生議会の様子



明石市制施行100周年記念事業シンボルマーク。一般公募で集まった176点の中から市内小学生の投票などにより決定しました。

## 2016 (平成28年)



明商野球部がセンバツ初出場

**議員もやま話**

10月5日、明石市役所にリオパラリンピックで活躍された上地結衣さん、別所キミエさんが訪れ、集まった皆さんから祝福を受けました。感謝とさらなる意欲を感じるお二人に感動し、私も心からの拍手を送りました。

2011年に制定されたスポーツ基本法には、スポーツは心身の健康維持増進にも重要な役割を果たし、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠とされています。しかし、運動したくてもできない現実、仕事が忙しい、お金がかかると、身近に施設がないという調査結果があります。特に若者の実施率が低く、また、障害者は健常者の半分以下です。国の労働政策の改善とともに、明石市でも誰もが身近にスポーツを楽しめる施設・環境整備が望まれます。

(市議会だより 第229号)

## 2017 (平成29年)



明石駅前再開発ビルブランドオープン記念セレモニー

## 2018 (平成30年)

### 姉妹都市提携50周年記念事業 バレホ市を訪問しました

米国カリフォルニア州バレホ市とは、昭和43年に姉妹都市提携して以来、市民の相互訪問をはじめ、文化・スポーツ・教育などの交流を通じて両市の友情を深めてきました。

今夏、姉妹都市提携50周年を記念して両市が相互訪問し、本市からは8月16日～21日にかけて、市議会を代表して穂原議長と議員4名が泉市長とともに、バレホ市を訪問しました。現地では、50周年記念式典に出席するとともに、明石の中高生によるジャズダンス公演を鑑賞するなど、さまざまな交流が行われました。



バレホ市役所前にて

(市議会だより 第239号)

## 2019 (平成31年/令和元年)

### 2月臨時会(市長の退職申し出)・3月議会(緊急質問)

2月臨時会が2月2日に急きょ開かれ、市議会は、泉市長の法定期日前の退職について、全会一致で同意しました。これにより、2月2日付での退職が決まりました。

地方自治法第145条では、「市長は退職しようとするときは、その退職しようとする20日前までに議長に申し出なければならない。ただし、議会の同意を得たときは、その期日前に退職することができる」とされており、この規定に基づき、泉市長は2月1日に、2月2日付で退職したい旨の申し出を穂原市議会議長に行い、2月臨時会が招集されたものです。

この市長の退職に伴い3月17日に市長選挙が行われ、泉市長が再選しました。

なお、3月22日の本会議では、暴言・パワハラ騒動について、泉市長に対し、議員から緊急質問が行われ、市長からは問題となった暴言以外の言動の真偽や職員に落ち度はなかったことなどについて答弁がありました。

市長の退職申し出により、2月臨時会を開催(市議会だより 第241号)



たこリンピック in 明石を開催



B-1グランプリスペシャルで明石市がゴールドグランプリに



本会議場に国旗・市旗を掲揚(平成29年3月1日～)



明石城も築城400年(石垣がくっきり見えるように樹木を伐採)